



配線図

作動温度特性

動作温度： 245°C -16K "OFF"

接点はセンサー温度が設定温度に達したとき、または液体膨張センサーシステムにキャピラリー破損等による液漏れが生じたときにOFFしインターロックされる。

温度によって動作した場合はセンサー温度を降下させた後、復帰ボタンを押して手動復帰することができます。

接点は全体の温度が-5°C以下に低下した場合にもOFFする。この場合はセンサー温度を20°Cに戻した後、復帰ボタンを押して復帰する。

表示温度：OFF値（端子x1 - x2間）
 センサー最低温度：-10°C
 センサー最高温度：300°C
 最高本体周囲温度：125°C
 キャピラリー最小屈曲半径：5mm

開閉容量：
 1 - 2 20(4) A 250V ~

⑦							1:1
⑥							
⑤							
④							
③				CAD	日付	担当	普通公差 ISO 2768-v フェールセーフ キャピラリー温度過昇防止器 55.335
②				作成	2005.02.14	Kobayashi	
①							
変更	摘要	日付	担当				